

工場新設と旧工場撤去状況 (農薬製造工場撤去新設)

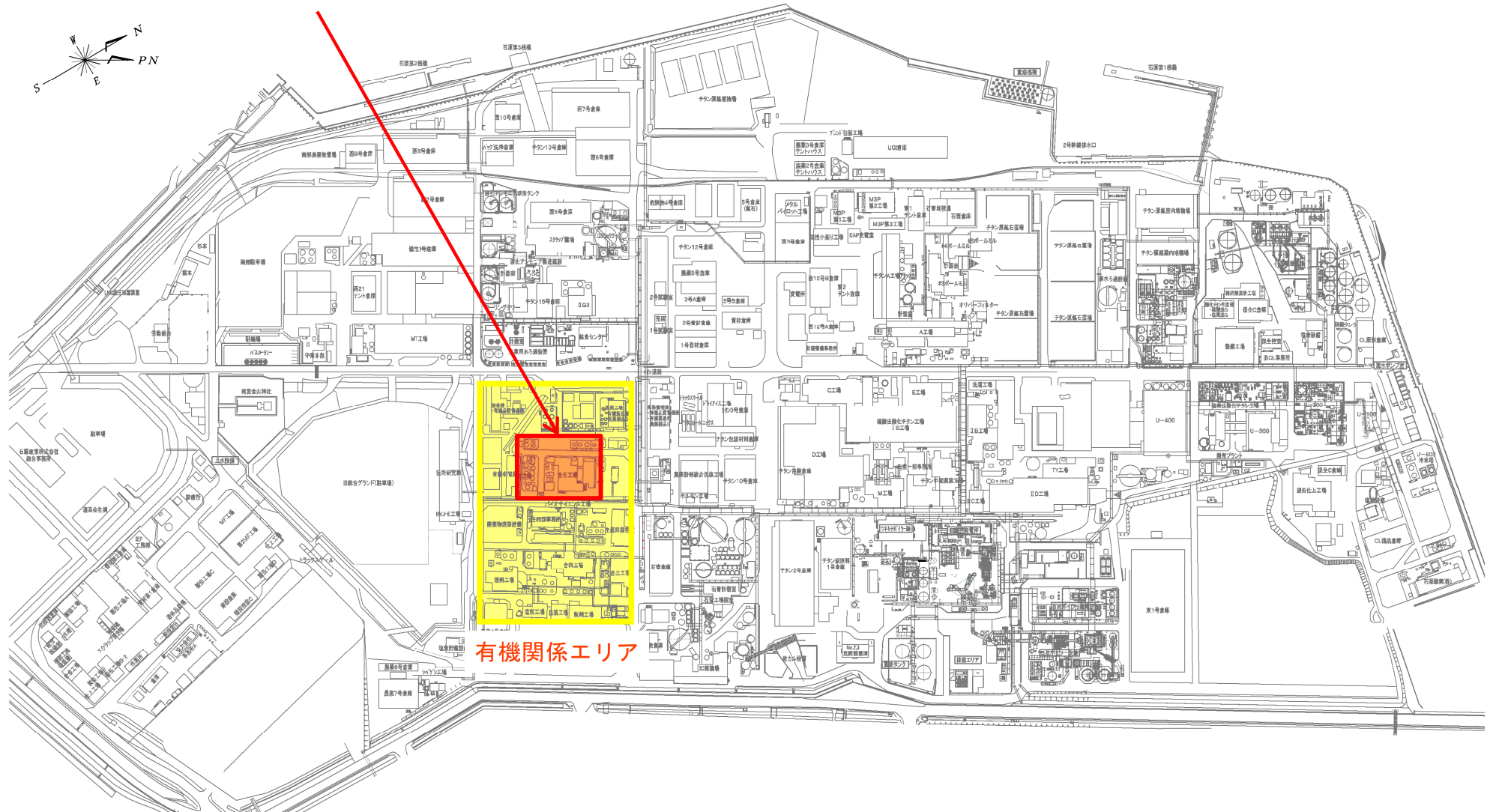
2024年8月 21日

旧工場の撤去と新工場建設

- 有機製造部旧工場（合成第五工場）は、2016年に工場の生産活動を中止。
- 旧工場撤去に際し、900m²以上の改変であるため土対法の適用を受け、四日市市に汚染発見届出と土地形質変更を提出。11月1日に汚染公表が発表され、区域指定を受け撤去を進め、汚染がない部分1.5mの掘削、基礎部分の撤去を終了した。
- 弊社農薬の主力製品である殺虫菌用の農薬製剤（SC剤）の販売拡大が予想されることから、生産を増強するため跡地に工場及び倉庫を新設する。建設にあたり7月に土地形質変更の届出を行った。

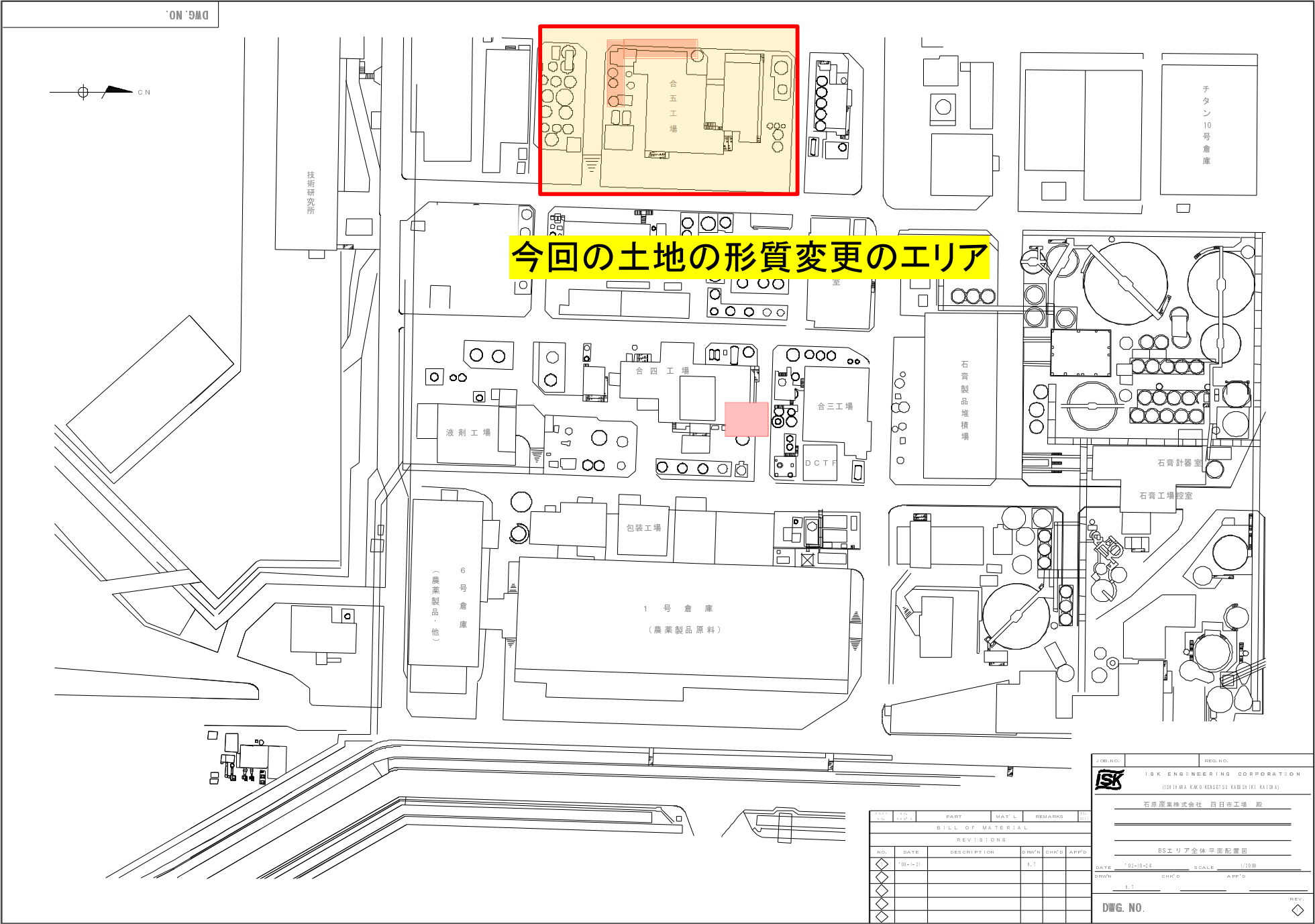
四日市工場 全体図

合五工場跡地



有機関係エリア

有機製造部 撤去新設工場付近図



NO.	DATE	DESCRIPTION	DRAWN	CHECKED	APPROVED
1	2024.10.10	1.1			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

JOB NO.	REQ. NO.
BS ENGINEERING CORPORATION (SHIMAZU KEN GOSHO SEI KAKUSHI K.K. KAISHA)	
石原産業株式会社 四日市工場 殿	
BSエリア全体平面配置図	
DATE	SCALE
2024.10.10	1/1000
DRAWN	APP'D
L.I.	
DWG. NO.	REV.
	◇

新工場設置の概要

SC剤工場

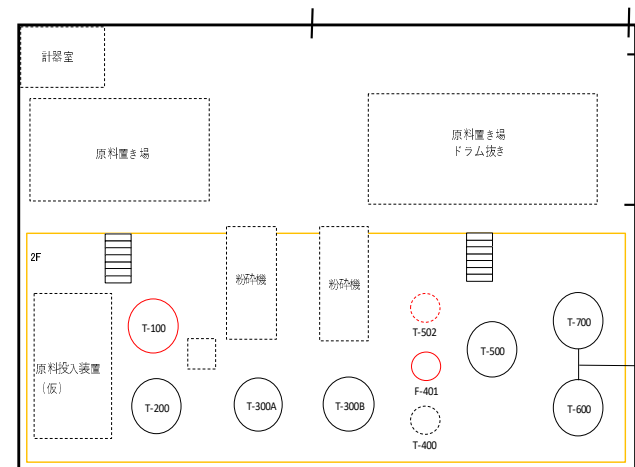
建屋：15m×25m 面積375m²

倉庫：テント 33m×15m 面積490m²

能力：5KL/D（SC剤）

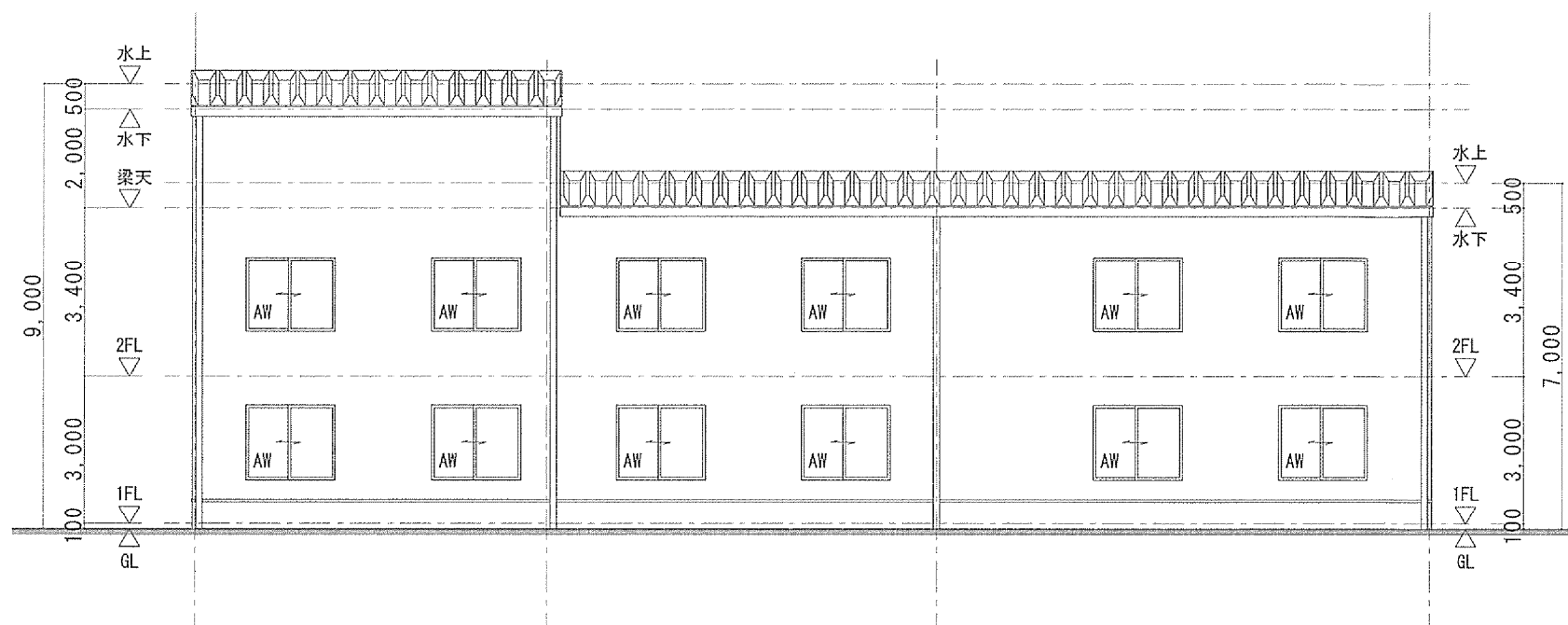
要員：2名

完工：2025年2月

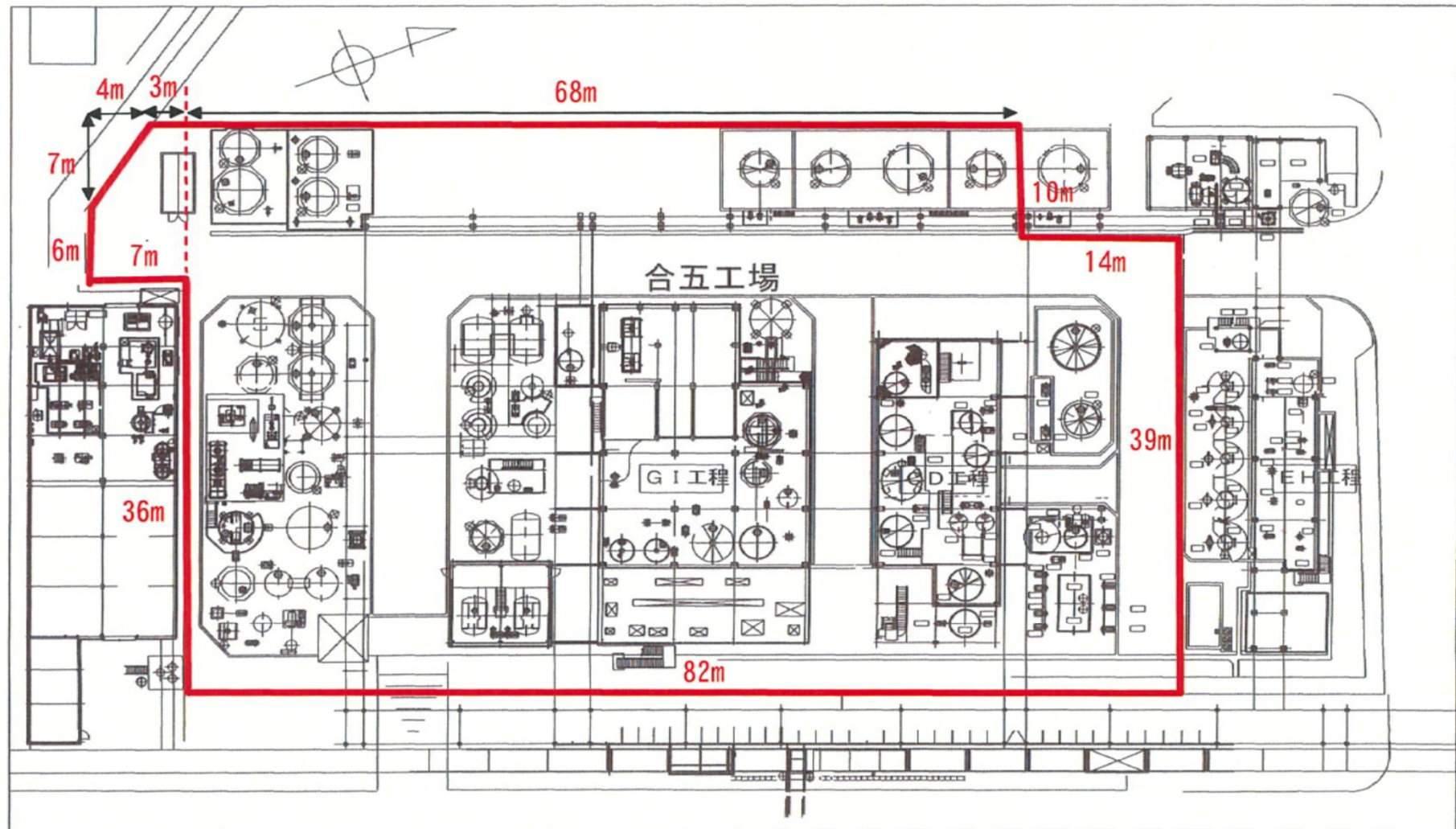


※SC剤とは(suspension concentrate)

個体の農薬原体を水の中に微粒子として懸濁した製剤である。



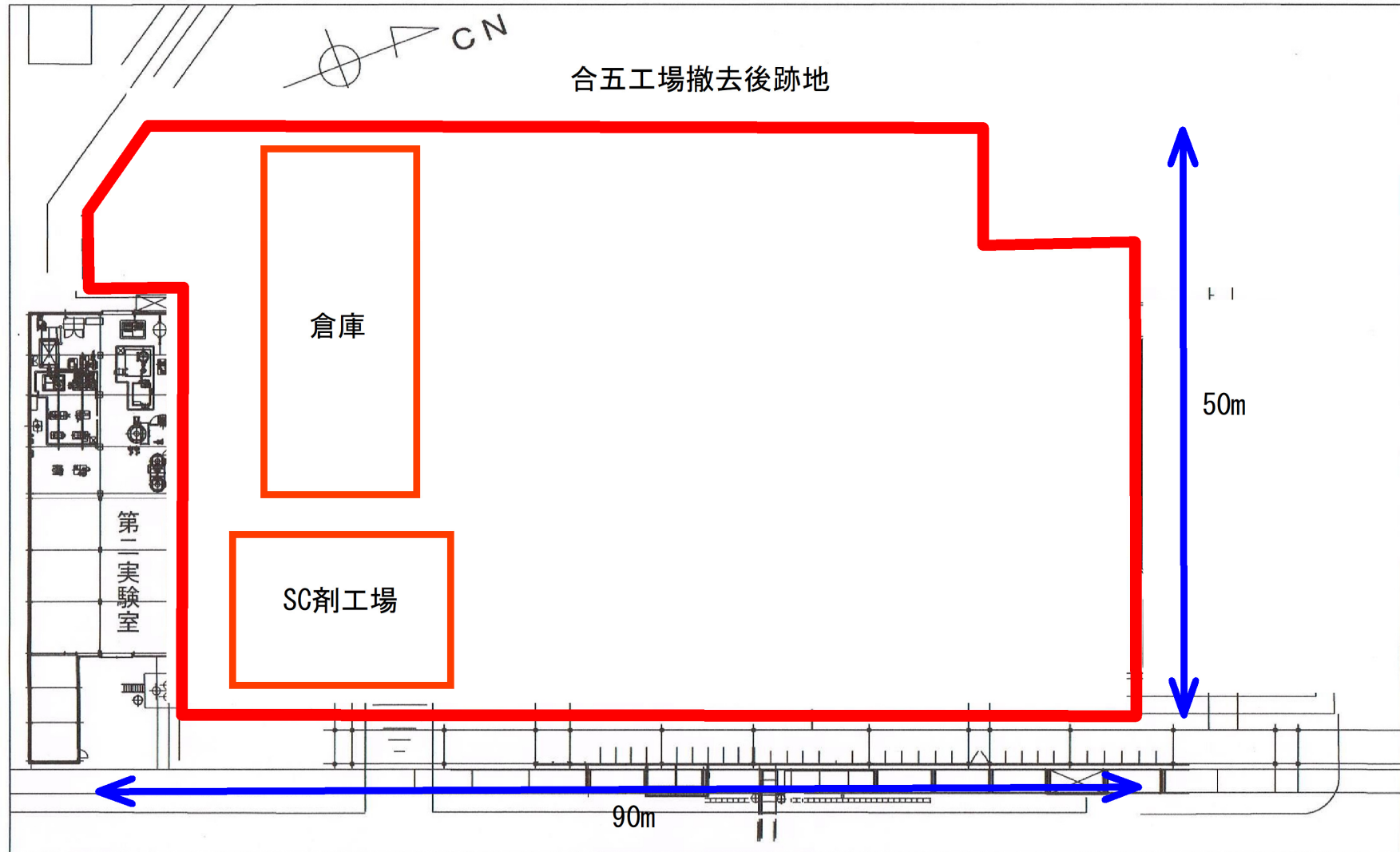
土地形質変更の範囲



赤枠内 3,805m²

10m

新工場的位置



土壌汚染を発見届出を提出

令和05年11月01日 記者発表資料 石原産業株式会社四日市工場における土壌汚染について

問い合わせ番号：16987-3572-2960 更新日：2023年 11月 1日

1. 発表内容

令和5年10月31日、三重県生活環境の保全に関する条例第72条の4第1項に基づき、石原産業株式会社（その化合物）が土壌溶出量基準を超過し、「鉛及びその化合物」が土壌含有量基大阪市西区江戸堀一丁目3番15号 代表取締役社長 社長執行役員 高橋 英雄(※) から同社四日市工場（四日市市石原町1番地）において、土壌汚染を発見した旨の届出がありました。

同社が工場敷地内において新たに工場建設工事を行うにあたり土壌を調査したところ「1,2-ジクロロエタン」、「ジクロロメタン」、「ふっ素及びその化合物」、「セレン及びその化合物」、「砒素及び準を超過しました（地点は別紙参照）。土壌溶出量基準を超過した物質について当該工事範囲の境界付近で地下水を調査したところ、いずれの物質についても基準を満たしていたことを確認しています。なお、当該工場敷地では、過去に土壌・地下水汚染が判明していることから、事業者が土壌・地下水汚染対策を検討するための第三者委員会である「環境専門委員会」を設置し、学識経験者等の指導を得ながら調査、修復に取り組んでいます。

< 土壌調査結果（溶出量） >

物質名	最大検出濃度	土壌溶出量基準
1,2-ジクロロエタン	6.7mg/L	0.004mg/L
ジクロロメタン	3.8mg/L	0.02mg/L
ふっ素及びその化合物	13mg/L	0.8mg/L
セレン及びその化合物	0.38mg/L	0.01mg/L
砒素及びその化合物	0.22mg/L	0.01mg/L

< 土壌調査結果（含有量） >

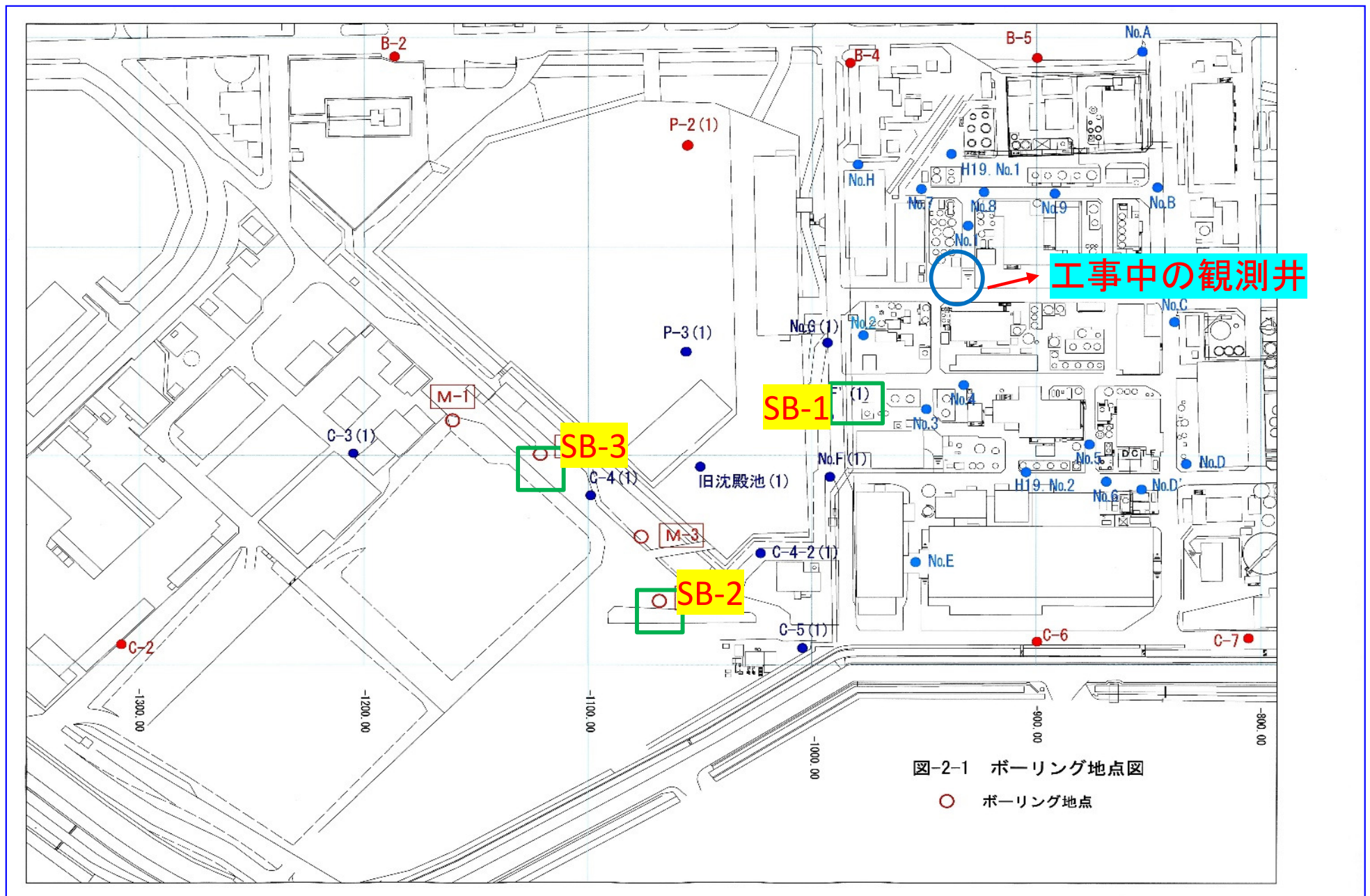
物質名	最大検出濃度 (土壌含有量基準の倍数)	土壌含有量基準
鉛 及びその化合物	920mg/kg	150mg/kg

今回の掘削について

掘削深度は基礎を撤去を目的としていることから1.5m以内を掘削。

この工事箇所掘削汚泥については分析（13号に基づく分析）を実施し、有害物は基準値内であった。このことから掘削時に発生した土壌は廃棄物として処分し、不足については購入土、砕石で代替を行うこととし実施した。

地下水モニタリング



工事中の地下水モニタリング結果

測定時期	測定日時	測定場所	測定項目及び測定値				
			ジクロロメタン (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	フッ素及びその化合物 (mg/L)
工事前	2023年8月3日	工事区域	<0.002	0.0026	<0.001	<0.001	0.61
工事1月目	2024年1月29日	工事区域	<0.002	0.0014	<0.001	0.001	0.53
工事2月目	2024年2月22日	工事区域	<0.002	0.0020	<0.001	<0.001	0.48
工事3月目	2024年3月26日	工事区域	<0.002	0.0014	<0.001	0.001	0.78
環境基準値 (mg/L)			0.02	0.004	0.01	0.01	0.8
定量下限値 (mg/L)			0.002	0.0004	0.001	0.001	0.08

工事期間を通じて大きな数値の変化は無く、基準値超過は見られなかった。